

平成26年8月21日

## ロータリーの女性会員とその歩み

8月は会員増強および拡大月間ですので、今週は「ロータリーの女性会員とその歩み」についてお話を致します。

ロータリークラブは、1905年2月にポール・ハリスを中心に4人の男性によってスタートしました。当時はアメリカにおいても女性の社会進出がそれほど進んでいたわけではないと思われ、長い間男性だけの組織として成長してきました。

初めて女性をロータリーに参加させようとする動きは1950年になり、標準ロータリークラブ定款には、「会員は男性でなければならない」となっていました。インドのクラブより定款から「男性」という言葉を削除するという提案がされましたが、否決されました。

その後も、職場で高い地位に就く女性が増えるにつれ、女性会員を支持するクラブの聲が高まり、1964年、1972年、1977年に同様の提案がされましたが、すべて否決されました。

1977年になって、アメリカカリフォルニア州のデュアルテ・ロータリークラブは、RI定款と標準ロータリークラブ定款に違反しながらも、3名の女性を会員に入会させました。この違反から、同クラブは、1978年3月に国際ロータリーへの加盟を終結させられることとなります。

デュアルテ・ロータリークラブは訴訟を起こしますが、1983年カリフォルニア州最高裁判所は、国際ロータリーを支持する判決を下します。

1986年に、控訴裁判所は下級裁判所の判決を覆し、カリフォルニア州では男性のみを会員とする規定を施行できないとしますが、カリフォルニア州最高裁判所は、この決定を退けたため、クラブは米国連邦最高裁判所に控訴します。

1987年5月4日、米国連邦最高裁判所は、ロータリークラブが性別を理由に女性を会員として拒否することはできない という判決を下します。

そして、ロータリーは方針声明を発表し、米国のロータリークラブは、資格を満たす女性を入会させることができるようになりました。

1989年に、米国連邦最高裁判所の判決から初めて開かれた規定審議会で、ロータリークラブの会員は男性に限られるとする RI 定款の要件を削除するよう決定しました。女性は世界中のロータリークラブで入会が認められることとなります。

そして、カリフォルニア州デュアルテ・ロータリークラブは1986年9月に遡って国際ロータリーに復帰加盟しました。

以上が、女性会員がロータリーに入会できるまでの歩みです。

2012年現在、世界の女性ロータリアンの数は215千人、日本では3,846人です。女性会員の比率は、世界では19%、日本では5%になっています。また、現在、女性会員は、クラブだけでなく、地区の委員長、ガバナー、さらには、RI理事やロータリー財団管理委員を務めるなど、地区やRIでも活躍しています。

安倍首相は、2015年度の国家公務員採用について、女性の割合を30%以上に引き上げることを表明しています。民間についても積極的な女性の採用や登用を促しています。これが安倍首相のウーマノミクスです。

また、ゲイリーC.K.ホアンRI会長も「ロータリーは、依然として、女性会員より男性会員がはるかに多いという現実と向き合うことであり、そして、私たちが取り組まなければならないことでもあるのです。ロータリーにもっと多くの女性会員を連れてくることができれば、私たちのクラブは、女性の会員候補者にとって、より魅力あるものとなり、同時に、より実りの多いものになるでしょう。」と述べておられます。

わがクラブも、現在会員数49名で女性は2名ですので、まだ少ない状態です。男性会員のみならず、女性会員のご推薦をよろしくお願いします。

本日の会長の時間は女性会員についてお話をしました。